前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にあっては名称)							住 (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 700-0944					
名 岡山スイキュウ株式会社							所 岡山市南区泉田371-1					
本票作成部署名:管理本部												
主たる業種 ^{分類} コード 44 業種名: 道路貨物運送業												
事業の 岡山県内の4営業所に200台程度の車両を置き、運送業を行っている。 概要 従業員数は、約320名。												
県内の主になった。	番号	-	工場等の名称				所 在 地					
	1	2	倉富物流センター				岡山市中区倉富367-4					
	2	ì	瀬戸内物流センター				瀬戸内市長船町土師168-1					
	3	,	泉田営業所				岡山市南区泉田371-1					
工場等	4	-	大福営業所				岡山市南区大福196-1					
特定事業者 の該当要件 ② ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 ☑ ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 □ ③CO₂換算3,000t以上 ● 車両台数(②該当の場合) 200 台)												
温室効果力	i ス 基	進年	E度(平成 24	年度)	(平成	25)年度排出量 目標年度(平成 29 年度)					
排出量			10,413 t	CO_2		1	1, 183 t CO ₂ 10, 800 t CO ₂					
	耄	番号 工場			5称		(平成 25)年度排出量					
		① 倉富物流セン					5, 102 t CO ₂					
 主な工場	本	2	瀬戸内物流センター				4, 367 t CO ₂					
土な工場 の排出量	: `	3	泉田営業所				1,390 t CO ₂					
		4	大福営業所				324 t CO ₂					
	L						t CO ₂					
							t CO ₂					
		十画其	引間: 平	成 2	5 年度	\sim	平成 29 年度 (5 箇年度)					
削減目標 達成状泡			総排出量基準	(2	5)年度削]減実績						
Æ/7X-1/(1		☑ 原単位基準			△ 6.1 %		3.3 % □達成 ☑未達					
(FE) Y 14-#	温	室効	果ガスの排出量と密	密接な関	係をもつ値の内	容	原単位当たり排出量					
(原単位基 の削減目標	を						基準年度 (25) 年度 目標年度 212 000 225 000					
選択してい 場合に記入		売上金額					213. 000 226. 000 206. 000					
						t	t co ₂ /(億円) t co ₂ /(億円) t co ₂ /(億円)					
(該当事業 ベンチマー					北海	指標 関連数値(平成 25 年度) 達成率等						
指標の状	74444 ZIG + FIT				- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1日1示	日/示					
	!_	台 戸	並無【									
【削減状	況の	自己	評価】									

デジタル式タコグラフの運行結果により、無駄なアイドリングや急発進・急加速・急停止、 経済速度での運行を指導し、燃費は毎年向上している。 新冷蔵庫が一年稼働し予定通り稼動できたが、原単位の減少に結びつかなかった。

【推進体制】

グリーン経営推進のため、各営業所に責任者・推進委員を任命し、 空気圧や排ガス色の点検、エンジンオイルやエレメント類を適切な時期に交換している。 倉庫内の巡回点検を定期的に行い、節電を強化している。

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
全営業所	21台を低燃費車に代替 エコタイヤ交換 トラック協会主催の省エネ運転講習会に出席 デジタル式タコグラフ・ドライブレコーダーによる個別指導 走行キロ数よりエンジンオイルやエレメント類を適切に交換 タイヤ空気圧を毎月確認し、適切な空気圧を管理 乗務員個々が月間燃費目標を設定し、運行毎に燃費を計算 ドライブレコーダーの追加導入
倉富物流センター	老朽化したドックシェルターを修理し、冷気の漏れを防いだ防熱扉の開閉を少なくした細かな温度管理を行った省エネ蛍光灯を124台導入太陽光発電を12月より開始、月平均16,000kwhを発電予定
今後の取り組み	新型デジタル式タコグラフを順次導入し、運行途中のリアルタイムな 指導を行う。 タイヤ空気圧監視装置を試験導入し、燃費低下やバーストを防止する。 燃費向上装置を試験導入。 旧冷蔵庫を補修し密封性を強化。照明をLEDにかえる。 昨年と同様の取り組みを行う

 【森林保全等吸収源対策への取組】

 県内での取組
 無

 その他
 無

 【再生可能エネルギーの導入】

 県内での取組
 無

 その他
 無

【その他特記事項】									